

年度:2020年 LOM番号:0469

【褒賞申請書】

事業名称	栗原リーダー塾～リーダーの資質を学ぼう～
カテゴリー	最優秀LOM個人能力開発プログラム部門

申請LOM	東北地区宮城ブロック栗原青年会議所
LOMの人数	17名
理事長名	上田幸次郎
担当者名	岸浪信司
担当者携帯番号	090-6222-2475 担当者Mail hanakotoyama@gmail.com
事務局住所	987-2216 栗原市築館伊豆2丁目6-1 栗原市市民活動支援センター内 貸事務室8
事務局TEL	0228-22-1232 事務局FAX 0228-22-1232

本事業の参加者	会員数	17名
	関係者数	0名
	一般参加者数	5名
事業実施に至る背景 400文字程度	近年の栗原青年会議所の考えるまちをより良くするための活動内容は、必ずしもまちにとってプラスになる活動を推進しきれてはなく、明確な理想を見付けた活動を推進しきれていないと考えます。我々の活動をより力強くするには、自分の意志で理想を見出し、その理想を発信出来る勇気を持ち、自分自身を導ける人材が必要です。	
事業目的 400文字程度	会員一人ひとりがセルフリーダーシップと理想を見出す力を駆使し、さらに見出した理想を率先して発信し、やがて人々や社会をリードする人材になる契機にします。	
SDG'sの該当項目	4-7 2030年までに、持続可能な開発のために教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を推進する為に必要な知識及び技能を取得できるようにする。	

<p>事業概要</p> <p>400文字程度</p>	<p>社会の変化のはじまりは何だろうかと考えたとき、それは人間一人のリーダーシップにあり、一人の人間が理想とする何かを志し、共感するフォロワーが現れ、協働したときに社会が動くものだと考えます。まちをより良く変化させるべく、掲げた自身の理想をみんなの理想へ誘うことができる人材、すなわち、社会や人々をリードする以前に自らを導くことができる人材育成事業を推進しました。</p> <p>組織一般には、肩書の力を使いながら人と接し物事を成し遂げていく側面がありますが、これはマネジメントという表現が適していると考えます。まちづくりは肩書のある人間だけのものではなく、市民一人ひとりが主役であるべきであり、まちにより良い変化をもたらす力として「セルフリーダーシップ」の向上を図る事業を2月～7月にかけ合計3回のプログラムにて行いました。</p> <p>(当初は2～5月にかけて毎月1回計4回行うプログラムでしたが、中止となった4・5月分の講義を7月に行い、計3回のプログラムに変更した。)</p>
<p>開催期間・ タイムスケジュール</p>	<p>2020年2月～2020年7月</p>
<p>開催場所</p>	<p>2月例会 栗原市市民活動支援センター 3月例会 栗原市市民活動支援センター 7月例会 はさま会館</p>
<p>事業区分</p>	
<p>公益・共益区分</p>	<p>無</p>
<p>事業総予算・収支</p>	<p>400000万円</p>
<p>協力団体</p>	<p>無</p>
<p>事業対象者</p>	<p>栗原青年会議所正会員</p>
<p>行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度</p>	<p>1回目のプログラムでは「目的意識」をテーマに日本青年会議所のVFセミナーを実施し、常に目的意識を持ち、今何をすべきか迷わず的確な判断をするための手法を学びました。</p> <p>2回目は「先見力」をテーマに講師を招き、将来を見抜く力として予測(将来こうなるだろう)と目指す(将来こうしたい)を兼ね備えたリーダーになるための講演を実施しました。</p> <p>3回目は「意志力とリーダー論」をテーマに2回目と同じ講師を招き、継続性を持たせながら「意志力」をテーマに「先見力」で各自設定したやりたい事・目指すことに対してなぜそれを目指すか、理由・背景の設定や各自の過去の経験・生き立ちを考えるとともに、「リーダー論」として明日からすべきこと、そのやりたい事を実現するために、各自の行動・言動で決別すべきmyルールづくりを行った。</p>

様式 1

結果 (RESULT)	<p>新型コロナウイルスの影響で2月から5月まで連続した例会として集中して行う事業にしたかったが、開催の延期や、プログラムの回数を減らすなど当初計画した事業とはならなかったが、本事業に参加したメンバーにとっては意識の昂揚につながり、事業目的の「人々や社会をリードする人材になる契機」になったと考えます。</p>
-----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域社会への影響 400文字程度	<p>本事業によって直接的な地域社会への影響はないと考えます。</p> <p>本事業は未来に向けて人材育成を図った事業なので、個々が社業へのプラスの影響、家族・家庭内でのプラスの影響、JC以外の様々な場面でリーダーシップを発揮することで、地域社会への影響をあたえてくれると考えます。</p>
LOMへの影響 400文字程度	<p>地域社会だけでなく、対内的にも好影響をもたらしてくれると考えます。</p>
事業の長期的な影響 400文字程度	<p>プログラム受講者が社業へのプラスの影響、家族・家庭内でのプラスの影響、JCを含め様々な場面でリーダーシップを発揮してくれると考えます。</p>
考察や推奨 400文字程度	<p>本事業では個々がやりたい事・目指すことを設定し、「ビジョンをもつ」ことができたと考えます。よってそれをこの先実現するためには、各自の行動が大切です。組織ではなく個人のビジョンですので、各自の今後の行動に期待するとともに、活躍が楽しみです。</p>
改善点	<p>メンバーだけでなく、もっと市内の若い方々に拡げた事業にするべきだったと考えます。</p>
JCI活動計画の推進 JCI VISION活動計画の推進 JCI MISSION活動計画の推進	<p>JCI VISIONの「young active citizens」に近づくための事業であった。</p>
添付資料 PDF資料2MB、5ページ以内	<p>無</p>

(AWARDS TOHOKU 2020 申請概要)

総務研修委員会 委員長 佐々木竜也

リーダーの資質を学ぼう

栗原リーダー塾

一般社団法人栗原青年会議所は2020年2月27日木曜日、3月26日木曜日、7月31日金曜日に「くりはらリーダー塾～リーダーの資質を学ぼう～」を栗原市市民活動支援センターとはさま会館にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この栗原リーダー塾は率先して行動ができるリーダー育成を目的として開催されました。アンケートの結果より参加者からは多くの学びを得たという結果をいただき、目的を達成する事ができました。

<p><u>栗原リーダー塾とは？</u></p>	
<p>詳細な事業内容</p> <p>期日：20年2月27日木曜日、3月26日木曜日、7月31日</p> <p>会場：栗原市市民活動支援センターとはさま会館</p> <p>リーダーを育成する事業としてリーダーの必要とされる資質を①目的意識②先見性③意志力④リーダー論の4つのテーマに分けて、学びました。</p> <p>※コロナの影響により4月5月例会が延期となりましたが、例会を延期して2つのテーマを7月に開催することで、すべてのテーマを参加者へ伝えることができました。</p>	